

産業看護業務の分析表の作成とその利用

(平成16年度)

主任研究者	佐賀産業保健推進センター 相談員	市場 正良
共同研究者	九州電力	諸岡 由美子
	佐賀銀行	宮崎 千賀子
	日本タングステン	渡辺 良子
	三菱シリコン	馬場 和子
	パナソニックコミュニケーションズ*	木下 直美
	パナソニックファクトリーソリューションズ*	河野 久仁子
	味の素	家永 佐智子
	佐賀県産業医学協会	國部 恵子

1 はじめに

佐賀県では産業看護職が佐賀県産業保健研究会を組織し、定期的に自主的な研修会を行っている。この研修を通しての問題点として、産業看護活動が看護職間でその意味する内容が大きく違う場合があることがあがってきた。これでは、看護職間で活動内容に関して情報交換を行う場合に、理解の違いが出るわけである。

よって15年度に、「産業看護業務の分析」で産業保健調査研究の助成を受け、産業看護職の業務を客観的に評価するために、業務を分析し、その定義を決め、全員がその内容を共有化するために業務分析表(次ページ)を作成した。

16年度には業務分析表を基に業務記録表を作成し、実際に各自で業務の種類と時間の記録を行い比較分析等を行うことを目標とした。

2 計画

年間4回の全体会議(4, 7, 10, 1月)で、業務記録表の提示と記入法の説明、各自の試行の報告と改良、長期の記入と集計を行うこととした。全体会議の前後には、役員会を開き、全体会議のまとめ

と次回の準備を行うこととし、役員会での取りまとめ作業は、業務分析小委員会を設けた。

3 経過と考察

1) 産業看護業務分析表の共有化

第1回全体会議を4月23日に佐賀産業保健推進センター会議室で開催した。

15年度の研究の経過が報告され、業務分析表の最終版が説明された。続いて、業務を記録するための業務記録表の原案が説明された。

業務調査表はエクセル表の形式で、毎日業務分析表の各項目に費やした時間を記入すれば1ヶ月の集計が出るようになっている。また相談指導に関しては、疾患別の集計も行うための調査表、コード表も提示された。

2) 記録の試行と問題点の把握

第2回全体会議を7月2日推進センター会議室で行った。第1回全体会議で配布された記録表をこの間各自で記入をしてみたわけだが、記入に伴い発生した問題点を把握するためアンケートを配布し、提出してもらうこととなった。

3) 改善記録表の配布と記入開始

第3回全体会議を10月27日推進センターで開催した。第2回全体会議で回収したアンケート集計を報告した。アンケートの結果を基により記入しやすい記録表の検討を始めた。

業務記録表に記入する前に1日の時間を計算するための日報が必要であることが指摘された。日報の原案が提示され、1日の業務を勤務時間順に記録しておき、1日の終了時に集計し、結果を(月次)業務記録に記入していく方法とした。

次の改善として予めファイル内に1ヶ月分の日報を用意しておき、日報の集計を月次業務記録表に自動的に表示させる改善業務記録表が完成した。

第4回全体会議1月23日に推進センターで開催した。これまでの問題点を改良した業務記録表を配布し、記入方法の説明を行った。実際に各自で記入してもらい17年度の会議で持参してもらうこととした。

4 おわりに

各自の産業保健活動の評価、あるいは他社の産業看護職との比較を行う上で、業務項目を標準化すべきであるという当初の目的に向かって2年が過ぎた。今年度の成果としては、業務記録表が完成した。今後、記入を続けていくわけだが、パソコンの扱いに不慣れな会員にも利用しやすいものが考え

られたと思っている。

これらの成果は、佐賀県内だけに留めるだけでなく広く紹介し、多くの方のアドバイスを頂きたいと考えている。